

稲葉ダムだより

発行: 稲葉ダム安全衛生連絡協議会
事務局 鹿島・大林・さとうJV 稲葉ダム本体建設工事事務所
竹田市大字下坂田830
TEL 0974-66-3939 FAX 0974-66-3940

早春の候、地元の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。平素よりダム建設工事に格段のご理解とご協力を頂きまして有難うございます。

工事の方では本体工事の堤体コンクリートの打設が大詰めとなってきました。その他貯水池対策工事(1工区・2工区・3工区・4工区・5工区)、取水放流設備工事が引き続き施工を行っています。また、6号林道法面保護工事や残土処分場造成工事が施工されており現場内は施工箇所が輻輳してきております。

今後も、当協議会としましては各社との連絡調整を密にして現場内の安全はもとより現場外の交通安全等にも充分注意していきますので、今後とも宜しくお願いします。

お知らせ

引き続き発破作業を下記のとおり行ないます。退避のご協力をお願いします。

本体工事: 原石山で12:00、17:00(基本的に土日は行いません。)

* 現場見学をご希望の際は、竹田ダム建設事務所もしくは当企業体にご気軽にご連絡下さい。

トピックス SP-TOM

SP-TOMは正式名称を「スパイラル パイプ トランス ポーターション メソッド」と言い、鋼管を用いてコンクリートや土石類を連続して大量に高所から低所へ運搬する工法です。鋼管を用いて運搬する方法は従来から行われてきましたが、材料が分離するなど、安定した運搬が難しく比較的短距離での搬送でしか用いられてきませんでした。SP-TOMでは、鋼管内部に硬質ゴムの羽根をらせん状に取り付け、鋼管自体を回転させることでコンクリートや土石類を押し出したり、自由落下を抑制します。それにより輸送物は分離することなく、安定的・連続的に下方へ運搬することができます。

SP-TOMの特長としては・・・

ベルトコンベヤでは不可能な**急斜面でも安定した運搬**が可能

乗り継ぎ管を用いることで勾配など地形の変化に柔軟に対応でき、長い支柱は不要

鋼管を回転させて鋼管内で運搬するので、**大きな騒音も粉塵も発生させない**

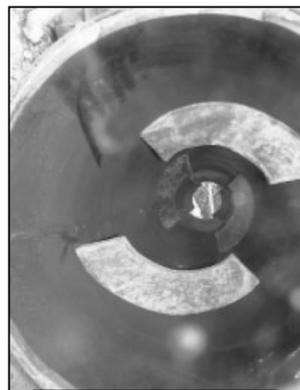
などが挙げられます。これらの特長により、ベルトコンベヤで不可能な急傾斜地でも**直線的な運搬**が可能となり、ダンプトラックなどでの運搬で必要な迂回路を省くことができ**比較的**
低コストで運用できます。稲葉ダム建設工事においても左岸貯水池対策で使用します。



堤体左岸に設置されたSP-TOM



SP-TOM 近影



鋼管内部の構造

現場のようす 本体工事

稲葉川下流



完成時堤体形状

右岸造成アバット

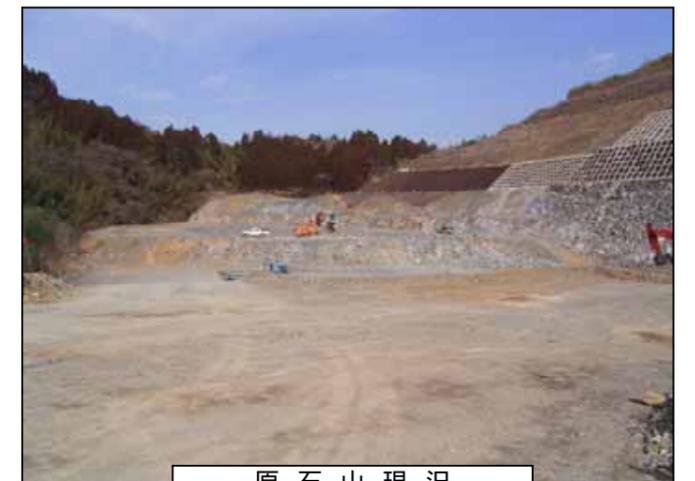
常時満水位

左岸造成アバット

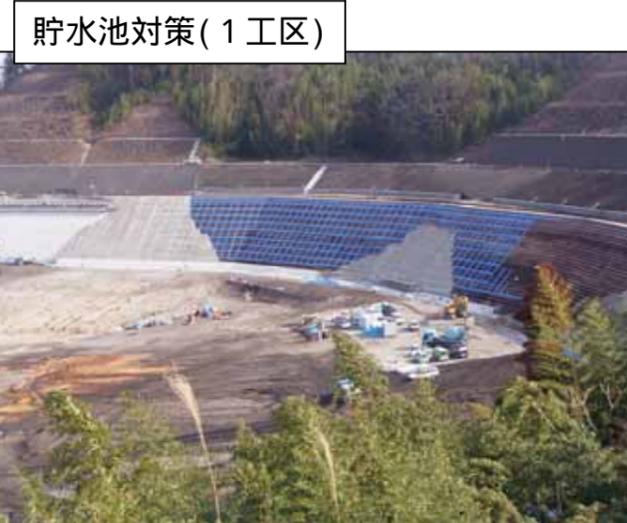
堤体コンクリート全体数量約22万m³のうち、2月末で約21.5万m³のコンクリート打設が完了します。



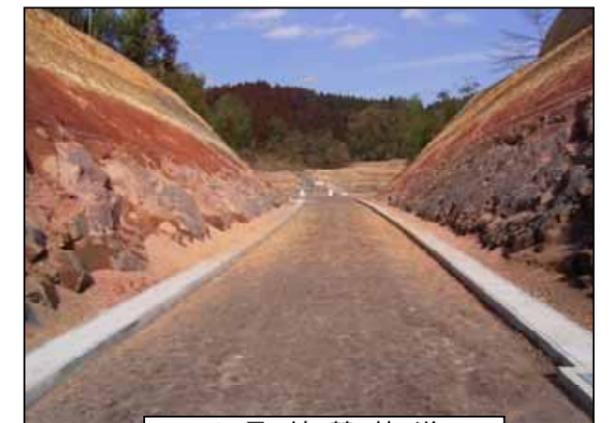
ダム堤体下流面



原石山現況



貯水池対策(1工区)



6号付替林道